

令和2年5月1日

全国国公立幼稚園・こども園長会
各会員園 園長様

全国国公立幼稚園・こども園長会
会長 新山裕之

「自宅で過ごす親子を支援する取り組みの提供」の期間延長について

風薫る5月を迎え、こいのぼりが青空に泳いでいます。皆様の園や地域の状況はいかがでしょう。

さて、外出自粛・ステイホームの期間はもうしばらく続きそうです。そんな中で、文部科学省の依頼を受けて「自宅で過ごす親子を支援する取り組みの提供」を全国の皆さんにお願いしたところ、文部科学省には多くの園から取組事例が届いているそうです。ご協力誠にありがとうございます。文部科学省としては、早期の事例公表を目指していることから、事例提出は4月30日で一旦締め切りとしたそうです。

ただし、今後、事例集をさらに充実させるために、取組事例の募集については、期間を延長し随時募集するそうです。ゴールデンウィークにも入り、緊急事態宣言の延長等に伴い、幼児の健康観察等の新たな業務も発生していますので、無理のない範囲で、引き続き取組の提出にご協力いただきますようお願いいたします。

※なお、この取組は、文部科学省からの依頼を受け協力する形で、国公幼が会員の皆様をお願いした任意の取組です。

各都道府県の教育委員会などには、文部科学省から情報提供がされています。ただし、今回は国公幼が文部科学省に協力する形での任意の依頼であり、緊急の対応だったため、各市区町村の教育委員会までにはお知らせが届いていないかもしれません。

各園における家庭への支援に関しては、教育委員会によるICT環境の支援や整備が前提となります。したがって、各園から直接文部科学省に投稿できるとはいえ、事前に教育委員会等にはご連絡されることでしょうか。その際に、上記のような状況から、各市区町村の教育委員会等にはまだ届いていない、あるいは情報提供という形でしか届いていないという事態も考えられます。

これは今回の文部科学省による取組が、緊急にかつ任意の募集であり、それに国公幼が全国ネットの組織力を生かして協力しているということですので、ご理解の上、ご協力いただければ幸いです。

引き続き、国公幼のホームページ、特に『国公幼 遊びの紹介』をご活用いただきたいと思います。また、『幼児教育じほう』の定期購読や『幼児教育大全』などの申し込みも受け付けています。併せてご購読いただき、自宅での研究と修養にご活用いただき、来るべき日への準備を進めていただければと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。